

解体

A : 管を抜く人

ペダルを踏みながら、ダンパース
トップバーを押す。



椅子の上に立ち、片方の手で管を少し持ち上げて利き手で紐を外す。紐を外したらBに指示し、Bの準備ができたら管を抜く。



管が抜けたら、白鍵はチャイムの前、黒鍵は後でCに渡す。



白鍵高音(G) → 黒鍵低音(C[#])の順番で同様の作業を繰り返す。

チャイム隊作業マニュアル

図入り簡易版

55代チャイム隊

B : 管を保護する人

チャイムの裏に立ち、Aの指示を待つ。紐が外れてAの指示があつたら、管が周囲に接触しないように保護する。



管が抜けたら次の指示まで待つ。

【白鍵】

上図のように管の両側、ひもがかかっていた部分を二本の指で管を挟むようにきつめに押さえる。黒鍵の配置によって、押さえる手は片手の方が良い場合と、両手の方が良い場合がある。

【黒鍵】

白鍵側ハンガーと管の間にあるねじが、管に触れないように手を挿し込む(ハンガー/ねじ/手/管のようになる)。紐が外れたら、白鍵と同様にチャイムを挟むように押さえよ。

C : 管を受け渡す人

Cは、白鍵の場合にはB,Cを一人で行うことができるが、黒鍵の場合はB,Cは分けて行う。

【白鍵】

チャイムの表側に立ち、Aから管を受け取る。必ずどの音であるか確認する。

【黒鍵】

チャイムの裏側に立ち、Aから管を受け取る。必ずどの音であるか確認する。黒鍵の場合は、管がハンガーの隙間を通るので注意する。初めに片手で管の最下部を持ち、もう一方の手ができるだけ上を持つと良い。上の手はあまり動かさず、ガイドにして下側の手を下ろしてゆくイメージ。

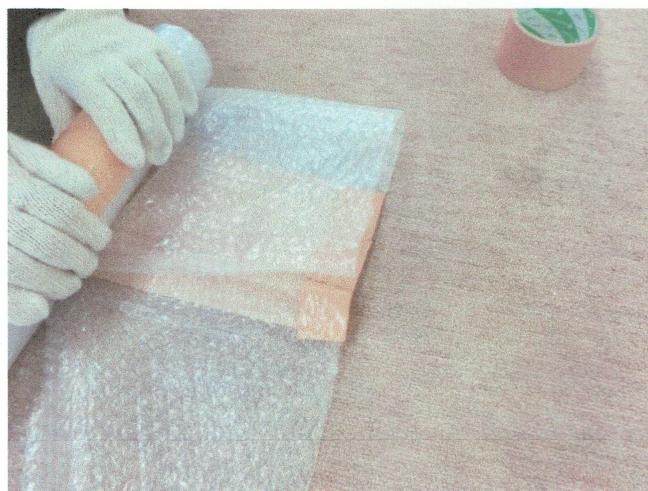
気泡緩衝材(通称：プチプチ)による梱包
プチプチを広げてガムテープの無い方に管を置き、下
図程度に巻いたら左右の余りを折りたたむ。



プチプチが管に密着するようにしっかりと巻く。巻く
ときにプチプチが弛むので下図のように張りながら
巻くと良い。



巻き終えたら紙ガムテープでとめる。梱包材を保護す
るために、必ず布ガムテープの上にだけ貼る。



毛布による梱包

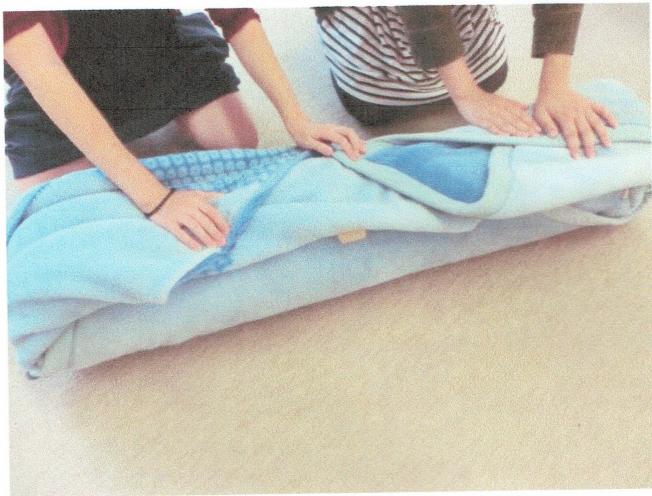
それぞれの管を巻き終えたら、3~4本ずつ毛布で包む。組み合わせは下記の5つ。

- ・白鍵上 4本(CDEF)
- ・白鍵中 4本(FGAB)
- ・白鍵下 3本(CDE)
- ・黒鍵上 4本(G[#]A[#]C[#]D[#])
- ・黒鍵下 3本(C[#]D[#]F[#])

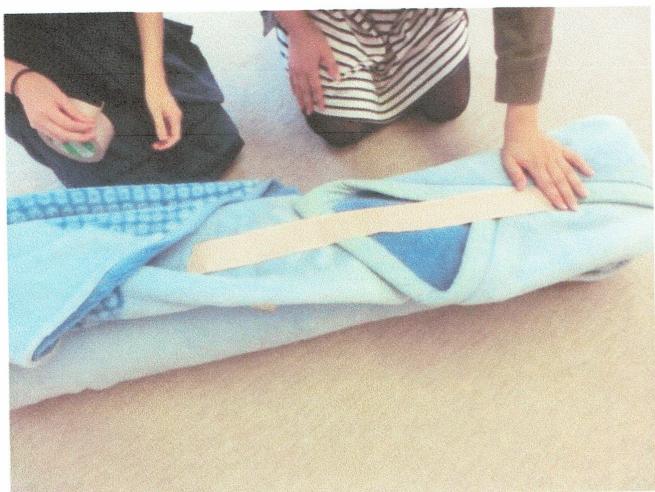
大きめの毛布を広げ、管を2本置き、毛布の一部を被せてからその上に残りの管を置く。



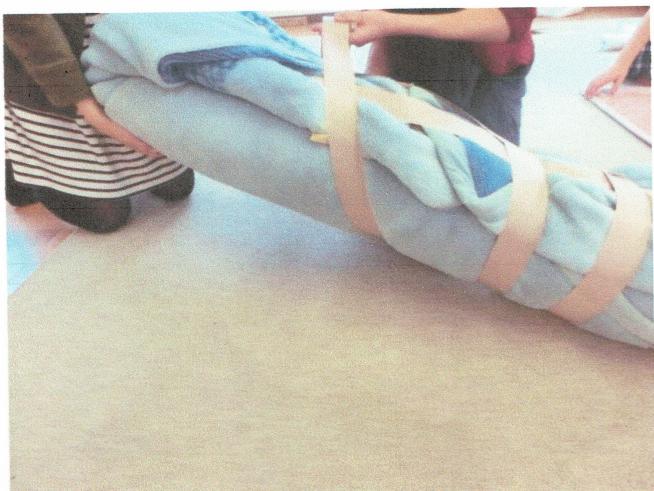
端まで巻いたら左右の余りを折る。



折った部分をテープでとめる。



片側を持ち上げながら、らせん状にテープで巻く。



両側をテープで巻いたら、中身がわかるようにテープ等で明示しておく。



管以外の梱包

ハンガーを外し、三角段ボールで包む(下図).



ダンパーを外す前にペダルと分離させておく。まず、2つのねじを緩める。



次にピンを抜いてロッドを外す(ピンは完全には抜けない)。



ロッドはダンパーアンダーブリッジに差し込む。



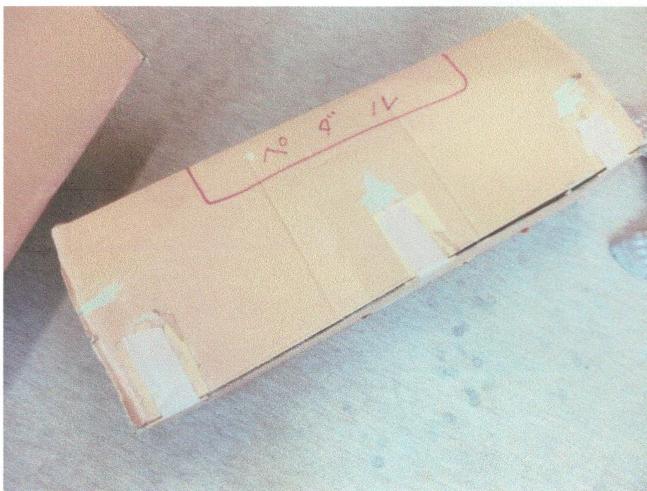
ダンパーはねじを緩めてから水平に持ち上げて外す。



2 本の支柱(サイドコラム)はねじを緩め、引き抜いたら箱に収納する。



外れたら三角段ボールに収納する(下図)。



ベース、ハンガー&ダンパーの順にチャイム箱へ収納する(ペダルや箱の位置に注意).



軍手やプチプチの袋を入れたら箱を閉じる.



梱包終了.

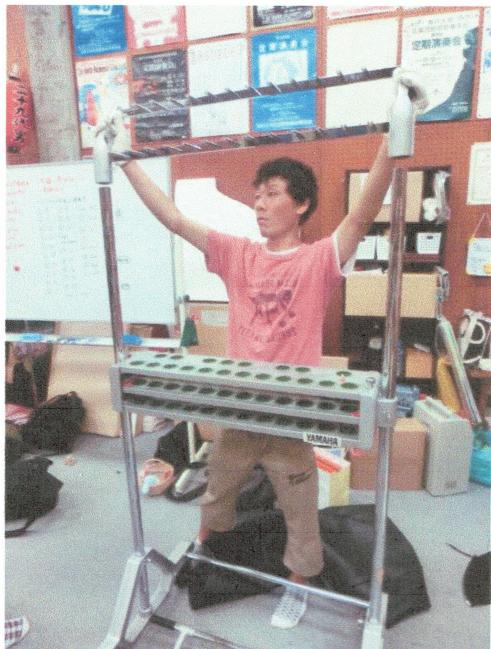


組立

管を挿す前に管以外を組み立てます。下から順に組みます。



管を挿す順番は、抜くときの逆順です。黒鍵は下図のようにして挿します。



紐を掛けるときは、Bに指を離すように指示してから掛けます。



白鍵最低音は挿すときにペダルにぶつかりやすいので、下図のようにして保護します。



組立が終わったら、道具を片付けて作業完了です。

